

医用画像 スマホで保存

プリズム・メディカル

市販機器使い簡単に管理

医療システム構築やソフト開発を手掛けるプリズム・メディカルは、わが国初のスマホ型医用画像撮影機器「Prism LiveShot」を開発、販売している。

診療や訴訟等に備え、疾患や状況、証拠写真といった医用画像を保存するケースが増えているものの、多くはデジタルカメラで撮影した画像を使用しており、取り込み

から保存までの手順が煩雑。医療現場からは「簡単管理で、いつでも参照できるシステムを」との要望が多いため、開発に踏み切ったという。

端末に、カスタマイズした市販のスマートフォンやタブレットPCを採用することで、専用開発の端末よりもインシャルコストを低減。回線に院内Wi-Fiを用いることで、堅牢なセキュリティを確保している。

高画質化するスマホやタブレット型PCのカメラ



スマホ同様の操作でデータの保存が可能



北海道医療新聞

6月7日
2019年・2275号
毎週金曜日発行
年間購読料20,000円
(前納/税別)
発行所

ラ機能と可動性を生かす、医療機関内のさまざまな環境や状況下での使用を可能にする。撮影も専用アプリを起動してボタンを押すだけで、撮影データも自動送信することで、多くの医療関係者が抵抗なく利用できる操作性を実現した。

患者情報の入力機能も備え、手入力のほか患者が手首などにつけるバーコードなどからの読み取りにも対応。既存カルテとの連動や導入済みPACSシステムへの組み入れなど、ユーザーのレベルに合わせてカスタマイズできる「現場ファースト機能」も搭載している。データをDICOM規格でPACSに転送したり、転送終了と同時にデータを消去する機能など、消失や毀損リスクへの対策も備えている。

問い合わせは、011(676)9192。